



Subaru

男声合唱団

ニュース№608

'17. 4. 10

11回コンサート

## メイン曲の数々レッスン進む

4月7日

□ 4月7日(金) 18:00~20:30 昴定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で第11回コンサート曲の「フィンランディア」と「仕事の歌」「想像力」「忘れっぽい人に」を、休憩・連絡報告等をはさんで、引き続き本並先生の指揮で、「ぶどうとかたぼみ」と「このみち」をレッスンしました。ピアニストは森二三さん、参加者は全37名でした。



□「フィンランディア」” *espressivo* (表情豊かに) 荘重に、厳(おごそ)かに、敬虔な、全世界の平和を願って “まずこの曲の持つ情景・成立過程・ことばの持つ意味を理解して！イメージ豊かに歌ってほしい。のんびんだらりとした気持ちや声は駄目！荘重に、厳かに、声の響きをそろえて。大きな声を張り上げるだけでは・・・駄目！まずきっちりとことばを合わせて、いい声で響かせて歌おう！

「ななつのーうみこえひびけー」:「な」の音程しっかりと。口の開け方、声の出し方、いつも言われているように。「けー」まで切らずに、フレーズの最初から最後まで、「けー」持ちこたえて！

「はるかの一くにのひとへー」:言葉の発音は亜矢子先生の言う、”母音はつなげて腹で支えて出し続ける、子音は早めに前に出してはっきりと“「ひとへー」の「へー」広がりを持った響きを！下に下がった音ではない。

「ふるさとーののにうたえるー」:「るー」まで、息を保って、ぶれないで延ばす。「ふるさとーの」ー瞬切って「のに・・・」へ続ける。あとの「の(野)に」の「の」をしっかりと発声する。「のにうたえるー」声を張り上げるだけでは駄目！ことばに心を込めて！

「わたしのーきぼうこそー」:「わ」の出し方「uwa」。mpからクレッシェンドして「こそ」でff、しっかり延ばして！

「へいわへのうたごえー」:「へいわ」の「へ」の音程確保！

(2番略)

□「仕事の歌」は「テノールソロと男声合唱のための仕事の歌(ドゥビーヌシカ)」として編曲。

1番はロシア語で、2番は原曲の2番(親は倒れ)、3番は原曲の7番(夜の闇も)をソリスト(テナー千秋さん)が歌う。掛け声のフレーズ(エーフ ドゥビーヌシカ・・・)を4部で。

掛け声のフレーズ(エーフ ドゥビーヌシカ・・・):

1番・3番はfで入りpからクレッシェンドfへ。2番はppで入り、クレッシェンドでf・ff。3番最後の「ウーツ

ニエム」の「ニエム」は叫んで終わる！

□「想像力」と「忘れっぽい人に」は、前回の定例レッスン（3月31日）を踏まえて、音程の確保、キーとなる大事なことばの発声の仕方、フレーズ毎の曲の表現について、再度確認しながら声を合わせていきました。

□「ぶどうとかたばみ」

「あさやけ ことば ひとつ はじけるー・・・」：4小節1フレーズが4つずつ続く。（起承転結）pで入って1小節ごとにスラーとスタッカートが入る。休むのではない、切れるが、気持ち・雰囲気・ことばは次につながっていく歌い方を！プツプツ切れた歌い方では困る。

「そのままにさびつくー」：このうたは4小節ごとに情景の描写を言葉で表わすこと。しっかりと言葉にして、キーとなることば(キーワード)がはっきりと聴き手に伝わるように、母音と子音の発声をふまえて、はっきりと、情感豊かに表現すること。

23～28小節(Uh- Uh-)のパートは低音部の主旋律をよく聞いて、引き立てる声で、しっかりと音とリズムをとって！

「くるしみのはなー」：ここの和音が一つの勝負所！

下パート：「なー」下がること！上で維持！ 中パート：「なー」弱い！もっとしっかりした声で！ 上パート：今の音量と音でよし！

31小節～「きょうは きのうと なにもかーもちがう」:f mf mp p 違いをはっきりと表現して！デクレッシェンド「ちがうー」でしっかり延ばして！

36小節～「lu lu lu lu・・・」59・60小節:rit. pp フェルマータで延ばして、a tempo で戻って次の「lu lu ulu lu・・・」へp mp mf fとクレッシェンドする。

67小節からの転調で雰囲気を変えて！Piu.mosso(今までより早く) risoluto(決然と、きっぱりと)

「たた-かいー や-まぬー し-ろいー わがまちー」・・・子音(た や し わ)早めにはっきりと出す。何を言っているかわからないのでは面白くない！ここも勝負所！聴かせどころ！

「ちをほうにくしみ あおくもつれ ひとなる」:難しいことばが続く。はっきりとことばに表現しよう！

「Oh Oh Oh」の声も各パート音程正しく、はっきりと！

89小節～「むねのゆうやけー」:f、フェルマータ、「む」(mu)「ゆ」(yu)ははっきりと

91小節～「きょうは きのうと」:p mp

「なにもかーもちがうー」:クレッシェンドでfへ 最後の「lo lo lo lo-----」:ffクレッシェンド・フェルマーター

□「このみち」は「昴ニュース 606号(末廣亜矢子声楽レッスン教室・一口メモ)」を再度見直してください。

昴11回コンサートコーナー

「仕事の歌(原曲)」 ロシア民謡

作詞 V. ボクダーノフ

訳詩 合唱団白樺

1、悲しい歌 嬉しい歌 いろいろ聞いたけれど

忘れられぬ歌はひとつ それこそ仕事の歌

※エイ ドゥビーヌシカ ウーフニエム

エイ ゼリョーナヤ サマパイチョート

パ ジョールニエム パ ジョールニエム

パ ウーフニエム

2、親は倒れ 死のまぎわに 息子に残すものは 貧しい暮らし 辛いさだめ 悲しい仕事の歌

※くりかえし

3、親から子へ 子から孫へ それはうたいつがれて 身も心も 疲れたとき なぐさめ力づける

※くりかえし

4、シベリアへの 道は遠く 囚われは歩む 鎖の音 うつろになり 流れる仕事の歌

※くりかえし

5、道の端に 山をなして うち捨てられた骨は 皇帝どもの 手なぐさみに 殺された者の骨

※くりかえし

